

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

## 記

## 1. 申請団体情報

## 1-1. 申請団体

団体名	西東京市(企画部情報推進課)	代表者名	佐野 剛
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	042-460-9806
担当者役職	係長	担当者氏名	田中史絵
		連絡先E-mail	
住所	188-8666 東京都西東京市南町5-6-13		

## 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三木 浩平
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>DXの進め方について、自治体の目線でご助言やご説明をいただいたこと。</li><li>国の施策や各自治体の取組、ベンダーの状況等幅広い視点からご説明いただいたこと。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

## 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月20日	14時00分	16時15分		135
3-2. 派遣場所	会場名	西東京市役所田無庁舎		最寄駅	西武新宿線田無駅
	所在地	東京都西東京市南町5-6-13		最寄駅からの交通手段	徒歩(5分程度)
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

## 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

## 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 情報推進課職員	人数 3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) 市のDXを推進するにあたり、所管課として必要な知識の習得と、組織全体の意識醸成が必要である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	手続きオンライン化、システム標準化、ガバメントクラウドへの移行等、DXを推進する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	今回は、庁内向けDX研修の事前打合せとして、当日の研修資料に沿ってご説明いただいた。まずはDXとは何かということや、関連する様々なツール等についてご説明いただいた。オンライン申請やシステムの標準化等については、自治体向けDX手順書の内容に関するアドバイスや、法令や国の補助金に関する情報や、他団体の取組、ベンダーの状況等、幅広い視点からご説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	上記の内容についてDX推進の所管課として、理解を深めることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は研修の事前打合せなので、アンケート等はありません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	行政手続きのオンライン化を推進し、システムの標準化やガバメントクラウドへの移行等について検討を進める。	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

